

2025年平和旬間

— 戦後80年を迎えて —

「いのちを守る 平和を築く」

教区司教 松浦悟郎



今、世界は大変危機的な状態になりつつあります。各地で起こる紛争が点から面に移りつつあり、前教皇フランシスコが言われたように、形を変えた「第三次世界大戦」が現実味を帯びてきたからです。こうした中、日本の司教団は今年、戦後80年にあたり、「平和を紡ぐ旅——希望を携えて——」と題するメッセージを発表しました。また、同時に、「核兵器廃絶宣言2025」を発表し、核兵器廃絶への強い意志を表明しました。昨年の8月6日、広島、長崎の司教と米国のサンタフェとシアトルの司教たちが中心となって「核兵器のない世界のためのパートナーシップ」が立ちあがり、名古屋教区は宣教司牧評議会を通して皆さんの賛同を得た上で、いち早く賛同団体に加わりました。

私たちは、今年の平和旬間をこうした動きに連れ、世界は大変危機的な状態になりつつあります。各地で起こる紛争が点から面に移りつつあり、前教皇フランシスコが言われたように、形を変えた「第三次世界大戦」が現実味を帯びてきたからです。こうした中、日本の司教団は今年、戦後80年にあたり、「平和を紡ぐ旅——希望を携えて——」と題するメッセージを発表しました。また、同時に、「核兵器廃絶宣言2025」を発表し、核兵器廃絶への強い意志を表明しました。昨年の8月6日、広島、長崎の司教と米国のサンタフェとシアトルの司教たちが中心となって「核兵器のない世界のためのパートナーシップ」が立ちあがり、名古屋教区は宣教司牧評議会を通して皆さんの賛同を得た上で、いち早く賛同団体に加わりました。

私たちは、今年の平和旬間をこうした動きに連れ、世界は大変危機的な状態になりつつあります。各地で起こる紛争が点から面に移りつつあり、前教皇フランシスコが言われたように、形を変えた「第三次世界大戦」が現実味を帯びてきたからです。こうした中、日本の司教団は今年、戦後80年にあたり、「平和を紡ぐ旅——希望を携えて——」と題するメッセージを発表しました。また、同時に、「核兵器廃絶宣言2025」を発表し、核兵器廃絶への強い意志を表明しました。昨年の8月6日、広島、長崎の司教と米国のサンタフェとシアトルの司教たちが中心となって「核兵器のない世界のためのパートナーシップ」が立ちあがり、名古屋教区は宣教司牧評議会を通して皆さんの賛同を得た上で、いち早く賛同団体に加わりました。

私たちは、今年の平和旬間をこうした動きに連れ、世界は大変危機的な状態になりつつあります。各地で起こる紛争が点から面に移りつつあり、前教皇フランシスコが言われたように、形を変えた「第三次世界大戦」が現実味を帯びてきたからです。こうした中、日本の司教団は今年、戦後80年にあたり、「平和を紡ぐ旅——希望を携えて——」と題するメッセージを発表しました。また、同時に、「核兵器廃絶宣言2025」を発表し、核兵器廃絶への強い意志を表明しました。昨年の8月6日、広島、長崎の司教と米国のサンタフェとシアトルの司教たちが中心となって「核兵器のない世界のためのパートナーシップ」が立ちあがり、名古屋教区は宣教司牧評議会を通して皆さんの賛同を得た上で、いち早く賛同団体に加わりました。

私たちは、今年の平和旬間をこうした動きに連れ、世界は大変危機的な状態になりつつあります。各地で起こる紛争が点から面に移りつつあり、前教皇フランシスコが言われたように、形を変えた「第三次世界大戦」が現実味を帯びてきたからです。こうした中、日本の司教団は今年、戦後80年にあたり、「平和を紡ぐ旅——希望を携えて——」と題するメッセージを発表しました。また、同時に、「核兵器廃絶宣言2025」を発表し、核兵器廃絶への強い意志を表明しました。昨年の8月6日、広島、長崎の司教と米国のサンタフェとシアトルの司教たちが中心となって「核兵器のない世界のためのパートナーシップ」が立ちあがり、名古屋教区は宣教司牧評議会を通して皆さんの賛同を得た上で、いち早く賛同団体に加わりました。

私たちは、今年の平和旬間をこうした動きに連れ、世界は大変危機的な状態になりつつあります。各地で起こる紛争が点から面に移りつつあり、前教皇フランシスコが言われたように、形を変えた「第三次世界大戦」が現実味を帯びてきたからです。こうした中、日本の司教団は今年、戦後80年にあたり、「平和を紡ぐ旅——希望を携えて——」と題するメッセージを発表しました。また、同時に、「核兵器廃絶宣言2025」を発表し、核兵器廃絶への強い意志を表明しました。昨年の8月6日、広島、長崎の司教と米国のサンタフェとシアトルの司教たちが中心となって「核兵器のない世界のためのパートナーシップ」が立ちあがり、名古屋教区は宣教司牧評議会を通して皆さんの賛同を得た上で、いち早く賛同団体に加わりました。

私たちは、今年の平和旬間をこうした動きに連れ、世界は大変危機的な状態になりつつあります。各地で起こる紛争が点から面に移りつつあり、前教皇フランシスコが言われたように、形を変えた「第三次世界大戦」が現実味を帯びてきたからです。こうした中、日本の司教団は今年、戦後80年にあたり、「平和を紡ぐ旅——希望を携えて——」と題するメッセージを発表しました。また、同時に、「核兵器廃絶宣言2025」を発表し、核兵器廃絶への強い意志を表明しました。昨年の8月6日、広島、長崎の司教と米国のサンタフェとシアトルの司教たちが中心となって「核兵器のない世界のためのパートナーシップ」が立ちあがり、名古屋教区は宣教司牧評議会を通して皆さんの賛同を得た上で、いち早く賛同団体に加わりました。

私たちは、今年の平和旬間をこうした動きに連れ、世界は大変危機的な状態になりつつあります。各地で起こる紛争が点から面に移りつつあり、前教皇フランシスコが言われたように、形を変えた「第三次世界大戦」が現実味を帯びてきたからです。こうした中、日本の司教団は今年、戦後80年にあたり、「平和を紡ぐ旅——希望を携えて——」と題するメッセージを発表しました。また、同時に、「核兵器廃絶宣言2025」を発表し、核兵器廃絶への強い意志を表明しました。昨年の8月6日、広島、長崎の司教と米国のサンタフェとシアトルの司教たちが中心となって「核兵器のない世界のためのパートナーシップ」が立ちあがり、名古屋教区は宣教司牧評議会を通して皆さんの賛同を得た上で、いち早く賛同団体に加わりました。

沖繩全県で太平洋戦争・沖繩戦の戦没者を追悼する6月23日、那覇教区(ウエイン・バートン司教)の主催する第39回平和巡礼に参加した。参加者はおよそ15キロの道のりを4時間かけて歩くのだが、筆者は腰部脊柱管狭窄症のため脚がしびれて長い距離を歩けないので車で伴走した。

巡礼は朝6時から的小禄教会でのミサから始まり、横浜、仙台をのぞく13教区の司教たちも集まって共同司式をした。主司式は司教協議会会長の菊地功東京大司教・枢機卿。菊地枢機卿は説教で、南西諸島で進む基地化を批判し、前週の定例司教総会で採択された戦後80年司教団メッセージと核兵器廃絶宣言を紹介して、平和に取り組みす教団の意志を示した。

那覇教区の信徒たちが「以上は松浦悟郎司教からの平和旬間メッセージである。なお、カトリック日本司教団の「平和を紡ぐ旅——希望を携えて」

うことを期待して軍と行動を共にしたからだ。本島中部に上陸した米軍が南下するにつれ、日本軍と共に南部に追い詰められた。4月1日の上陸から3カ月間にわたって米陸軍が放った砲弾は270万発以上で、止む間もない銃弾、砲弾の嵐は「鉄の暴風」と形容される。地形も変形するような弾丸の雨の中、住民は必死に南部に向かって避難した。徒歩巡礼は、その過酷さを少しでも体験しようとするものである。

終戦後、累々と連なる支障をきたした高齢のシスターも大勢参加していた。巡礼中、最前列と最後尾の間には徐々に長い距離が開いた。前方を進むスタッフからは、スケジュールが気になるのだろう、遅れている参加者に前に詰めるよう促してほしいと協力が求められた。しかし、振り返りも厳しい炎天下の長い道と足を運ぶ参加者たちに、にっこり笑って「がんばって!」と応援はできても、「もっと前に詰めて!」などはとうてい言えない。

沖繩戦では沖繩の住民が10万人以上も戦死したとされる。多くの住民が被害を被った理由の一つが、日本軍に守ってもら

レンタカーで利用する道路だが、現在、この道は朝から夕方までダンブカーが列をなして猛スピードで走り抜けるたいへん危険な道となっている。それは県内各地で採掘された土砂を辺野古新基地の埋め立て現場に運ぶ船が本部町の塩川港でダンブカーを待つっており、一日に何百台というダンブカーが集まっていくからだ。新基地建設に反対する有志の人びとは、そんなダンブカーの前の公道を、炎天下にも



第458号
2025年 8・9月
〒461-0004
名古屋市東区葵2丁目6-35
カトリック名古屋教区広報部
電話 (052) 935-2223
FAX (052) 935-2254
news@nagoya.catholic.jp
印刷所 株式会社 荒川印刷
毎月第1日曜日発行



2025年 通常聖年
希望の巡礼者となって
聖年をともに歩みましょう

教区ホームページ

福音のひびき	
8月の説教者	
3日	年間第18主日 光山 相泰 (美濃加茂教会)
10日	年間第19主日 伊藤 大有 (東山教会)
17日	年間第20主日 バヴォール・フィラデルフィ (神言修道会)
24日	年間第21主日 ホー・シヨウフェン (刈谷教会)
31日	年間第22主日 ティボン・レイナルド (城北橋教会)
9月の説教者	
7日	年間第23主日 島袋 幹男 (聖心教会)
14日	年間第24主日 秋元 伸介 (布池教会)
21日	年間第25主日 平田 豊彦 (岐阜教会)
28日	年間第26主日 平澤 忠雄 (布池教会)

2025年度 正義と平和委員会 学習会 第3回「明日を生きる若者気候訴訟」

講師 宮澤カトリンさん&尾形慶子さん (NPO法人 HAPPY PLANET 代表) (緑の党グリーンズジャパン 共同代表)
2024年8月6日、16名の10代~20代の若者が原告となり、電力トップ10社を相手取って名古屋地裁に提訴を行いました。日本で初めてとなる「若者気候変動訴訟」です。原告が暮らす地域は北海道から九州まで、職業は中学生から高校生・大学生まで十人十色。そんな私たちが何故、訴訟に踏み切ったのでしょうか。
日時 8月30日(土) 10:30~12:00
会場 福音館2階 (名古屋市東区葵2-6-29、布池教会東) 地下鉄東山線新栄駅から徒歩8分、桜通線車道駅から徒歩8分、JR 中央本線千種駅から徒歩9分
誰でも参加できます。自由にご来場ください。
主催 カトリック名古屋教区正義と平和委員会
連絡先 浅野幸治 asano@toyota-ti.ac.jp または 090-8860-3627

名古屋教区 平和祈願ミサ2025 「いのちを守る 平和を築く」
名古屋カテドラルカトリック布池教会
8月10日(日) 13:00 受付
13:30 第1部 平和を考える集い (会場: 大聖堂地下ホール)
・DVD鑑賞: ドキュメンタリー「にんげんをかえせ」
・おはなし: 被爆二世の語り部 太田智恵子さん (瀬戸教会・被団協愛友会 瀬戸支部代表)
15:00 第2部 平和祈願ミサ 主司式 松浦悟郎司教・司祭団
カトリック福井教会
8月11日(月・祝) 10:00 DVD鑑賞: ドキュメンタリー「にんげんをかえせ」
10:30 平和祈願ミサ 主司式 松浦悟郎司教・北陸ブロック司祭団
問合せ 名古屋教区宣教司牧評議会 TEL: 052-936-8366

第14回大阪高松教会管区司牧者研修会

6月9日(月)から11日(水)まで大阪のカトリックセンター・サクラファミリアにおいて第14回大阪高松教会管区司牧者研修会がテーマ「希望をもってともに宣教の旅へ」サブテーマ「日本の教会の現状にも希望を見出し、ともに歩む教会をめざす」で開催された。

一日目は「ともに歩む教会のために」交わり、参加、そして宣教」をテーマに、3年間(2021年10月〜2024年10月)かけて開催された世界シノドスに「ともに歩む教会」の姿を具体化していくために、日本の教会の現状を踏まえて、そこに見いだされる「希望」に目を向けながら、2025年の通常聖年を迎えたわたしたちが、「ともに宣教の旅へ」新たなスタートを踏み出すことを目指すことと、参加者は大阪高松教会管内の4教区(大阪高松、京都、広島、名古屋)からの計149名で名古屋教区からは22名であった。

一日目は「ともに歩む教会のために」交わり、参加、そして宣教」をテーマに、3年間(2021年10月〜2024年10月)かけて開催された世界シノドスに「ともに歩む教会」の姿を具体化していくために、日本の教会の現状を踏まえて、そこに見いだされる「希望」に目を向けながら、2025年の通常聖年を迎えたわたしたちが、「ともに宣教の旅へ」新たなスタートを踏み出すことを目指すことと、参加者は大阪高松教会管内の4教区(大阪高松、京都、広島、名古屋)からの計149名で名古屋教区からは22名であった。

一日目は「ともに歩む教会のために」交わり、参加、そして宣教」をテーマに、3年間(2021年10月〜2024年10月)かけて開催された世界シノドスに「ともに歩む教会」の姿を具体化していくために、日本の教会の現状を踏まえて、そこに見いだされる「希望」に目を向けながら、2025年の通常聖年を迎えたわたしたちが、「ともに宣教の旅へ」新たなスタートを踏み出すことを目指すことと、参加者は大阪高松教会管内の4教区(大阪高松、京都、広島、名古屋)からの計149名で名古屋教区からは22名であった。

一日目は「ともに歩む教会のために」交わり、参加、そして宣教」をテーマに、3年間(2021年10月〜2024年10月)かけて開催された世界シノドスに「ともに歩む教会」の姿を具体化していくために、日本の教会の現状を踏まえて、そこに見いだされる「希望」に目を向けながら、2025年の通常聖年を迎えたわたしたちが、「ともに宣教の旅へ」新たなスタートを踏み出すことを目指すことと、参加者は大阪高松教会管内の4教区(大阪高松、京都、広島、名古屋)からの計149名で名古屋教区からは22名であった。

一日目は「ともに歩む教会のために」交わり、参加、そして宣教」をテーマに、3年間(2021年10月〜2024年10月)かけて開催された世界シノドスに「ともに歩む教会」の姿を具体化していくために、日本の教会の現状を踏まえて、そこに見いだされる「希望」に目を向けながら、2025年の通常聖年を迎えたわたしたちが、「ともに宣教の旅へ」新たなスタートを踏み出すことを目指すことと、参加者は大阪高松教会管内の4教区(大阪高松、京都、広島、名古屋)からの計149名で名古屋教区からは22名であった。

一日目は「ともに歩む教会のために」交わり、参加、そして宣教」をテーマに、3年間(2021年10月〜2024年10月)かけて開催された世界シノドスに「ともに歩む教会」の姿を具体化していくために、日本の教会の現状を踏まえて、そこに見いだされる「希望」に目を向けながら、2025年の通常聖年を迎えたわたしたちが、「ともに宣教の旅へ」新たなスタートを踏み出すことを目指すことと、参加者は大阪高松教会管内の4教区(大阪高松、京都、広島、名古屋)からの計149名で名古屋教区からは22名であった。

一日目は「ともに歩む教会のために」交わり、参加、そして宣教」をテーマに、3年間(2021年10月〜2024年10月)かけて開催された世界シノドスに「ともに歩む教会」の姿を具体化していくために、日本の教会の現状を踏まえて、そこに見いだされる「希望」に目を向けながら、2025年の通常聖年を迎えたわたしたちが、「ともに宣教の旅へ」新たなスタートを踏み出すことを目指すことと、参加者は大阪高松教会管内の4教区(大阪高松、京都、広島、名古屋)からの計149名で名古屋教区からは22名であった。

一日目は「ともに歩む教会のために」交わり、参加、そして宣教」をテーマに、3年間(2021年10月〜2024年10月)かけて開催された世界シノドスに「ともに歩む教会」の姿を具体化していくために、日本の教会の現状を踏まえて、そこに見いだされる「希望」に目を向けながら、2025年の通常聖年を迎えたわたしたちが、「ともに宣教の旅へ」新たなスタートを踏み出すことを目指すことと、参加者は大阪高松教会管内の4教区(大阪高松、京都、広島、名古屋)からの計149名で名古屋教区からは22名であった。

一日目は「ともに歩む教会のために」交わり、参加、そして宣教」をテーマに、3年間(2021年10月〜2024年10月)かけて開催された世界シノドスに「ともに歩む教会」の姿を具体化していくために、日本の教会の現状を踏まえて、そこに見いだされる「希望」に目を向けながら、2025年の通常聖年を迎えたわたしたちが、「ともに宣教の旅へ」新たなスタートを踏み出すことを目指すことと、参加者は大阪高松教会管内の4教区(大阪高松、京都、広島、名古屋)からの計149名で名古屋教区からは22名であった。



菊地功枢機脚の基調講演



松浦悟郎司教主式のミサ



「霊における会話」の手法を用いて、上記のテーマ別グループの分かち合いが実施された。

三日目は「希望をもって、ともに宣教の旅へ」というテーマで前日の各グループの分かち合いの発表の後、司教団からの講評に続き、前田万葉枢機脚司式による派遣のミサで締めくくられた。

三日目は「希望をもって、ともに宣教の旅へ」というテーマで前日の各グループの分かち合いの発表の後、司教団からの講評に続き、前田万葉枢機脚司式による派遣のミサで締めくくられた。

信使徒職大会2025開催

2025年信使徒職大会が去る6月14日(土)に、布池地下ホールにて開催された。

2025年信使徒職大会が去る6月14日(土)に、布池地下ホールにて開催された。

今年もそれぞれ社会問題に取り組んでいる各活動団体と小教区のグループが参加して、活動の紹介やバザーが開かれ信徒同士の交流の場となった。第一部では大阪高松大司教区から講師としてビスカルド篤子氏を招き、大会のテーマ「喜びをもって共に生きる」に沿って、講演してもらった。ビスカルド氏は大阪高松大司教区、社会福音活動センター・シナピスの一員として活動している。

設立された。講演では、共に生きる」とはどういことか?をシナピスで出会った人々との関わりを通して語った。シナピスには日々、窮状に陥った外国人籍の人々が、一縷の希望を求めて出入りしている。難民申請者が多くを占めているが、生活困窮、不登校等の問題を抱える日本人の姿もある。なお、講演会献金4,800円、信徒協賛金7,600円であった。

設立された。講演では、共に生きる」とはどういことか?をシナピスで出会った人々との関わりを通して語った。シナピスには日々、窮状に陥った外国人籍の人々が、一縷の希望を求めて出入りしている。難民申請者が多くを占めているが、生活困窮、不登校等の問題を抱える日本人の姿もある。なお、講演会献金4,800円、信徒協賛金7,600円であった。

2025年度 秋季
名古屋教区女子修道会 在俗会連盟主催 講演会
「性暴力被害の現実と被害者の思いを知る
—— 支援者からのメッセージ ——」

日時 9月6日(土) 13:30~16:00 (休憩含)
 会場 カトリック名古屋教区 五反城教会 信徒館 ホール
 目的 教会・家庭内での性暴力・虐待・暴力被害者と加害者を知ること。特に教会においては、聖職者による性被害、暴力をはじめ、被害者信徒が二次被害にあわぬよう被害を受けた信徒ひとり一人を理解できるよう被害者の思いを知る。また、加害者と属する教区、修道会が被害者に誠意をもって対応し、謝罪し、傷ついた心身のケアを助け、教会に温かく迎え入れる体制を整え、実行するよう教会共同体を見直す。

対象 名古屋教区カトリック教会信徒その他支援団体協働者
 講演者 片岡笑美子 性暴力対応看護師 「性暴力の実態と支援」
 長江美代子 精神看護専門看護師 「被害者のPTSDについて」
 一般社団法人 日本フォレンジックヒューマンケアセンターより
 参加費 自由献金(教会献金) 主催 名古屋教区 女子修道会 在俗会連盟

第40回 名古屋教区障害者のつどい
「想いをつむぐ・仲間をつなぐ」
— 来年の第15回名古屋全国大会に向けて —

日時 9月28日(日) 9:30~15:45 (受付開始 8:30)
 場所 カトリック布池教会 名古屋市東区葵1丁目12-23
 アクセス 地下鉄 東山線 新栄駅下車 徒歩7分、桜通線 車道駅下車 徒歩7分
 JR 千種駅下車 徒歩9分

プログラム 9:30 ミサ 主司式 松浦悟郎司教
 11:30 昼食・交流会(ゲスト:メルボルン オクテット 合唱)
 13:15 講演 「想いをつむぐ 仲間をつなぐ」
 講師 山田昭義氏 社会福祉法人 AJU自立の家 常務理事
 日本カトリック障害者連絡協議会(カ障連) 初代会長

15:45 終了
 問合せ カトリック名古屋教区障害者連絡会
 電話 052-852-1426 (カリタス福祉委員会内) Fax 052-841-2225
 *申し込み方法、その他詳細は、7月末に各教会に配布される会報84号をご覧ください。
 共催 カトリック名古屋教区障害者連絡会 カリタス福祉委員会 城北ブロック

名古屋教区一般会計報告

2024年度収支決算書の要約

2024年4月1日から2025年3月31日まで
(単位:円)

収入の部	
本部維持献金	24,366,795
司牧協力分担金	68,655,196
信徒協献金	595,403
その他献金・寄付金	1,163,437
能登半島地震義援金	119,686,670
修道会教区宣教協力金	1,355,000
雑収入	506,605
繰入金収入	3,323
当期収入合計 (A)	216,332,429
前期繰越収支差額	5,701,861
収入合計 (B)	222,034,290
支出の部	
活動費管理費	21,997,259
人件費	7,496,559
儀典集会費	166,379
研修費	482,515
図書印刷費	128,316
中央協分担金他	1,630,000
寄付金	270,000
その他活動費	1,517,327
修繕費	38,500
賃借料	1,978,992
会議費	107,104
慶弔渉外費	0
旅費交通費	1,267,960
通信運搬費	719,124
備品・消耗品費	318,637
水道光熱費	1,530,145
保険料	216,850
その他管理費	4,128,851
備品購入支出	228,470
司牧協力献金(修道会宛)	51,000,000
教区司祭生活費	17,455,200
委員会助成金支出	2,717,336
福信館助成金支出	1,066,805
広報部特別会計	0
能登支援特別会計	120,915,430
一般積立会計積立	3,700,000
当期支出合計 (C)	219,080,500
当期収支差額 (A) - (C)	△2,748,071
次期繰越収支差額 (B) - (C)	2,953,790

2025年度収支予算書の要約

2025年4月1日から2026年3月31日まで
(単位:円)

収入の部	
本部維持献金	24,244,802
司牧協力分担金	68,655,198
信徒協献金	500,000
その他献金・寄付金	1,055,000
能登半島地震義援金	81,000,000
修道会教区宣教協力金	1,200,000
雑収入	270,000
繰入金収入	6,664,000
当期収入合計 (A)	183,589,000
前期繰越収支差額	0
収入合計 (B)	183,589,000
支出の部	
活動費管理費	30,522,000
人件費	9,762,000
儀典集会費	320,000
研修費	900,000
図書印刷費	200,000
中央協分担金他	3,440,000
寄付金	100,000
その他活動費	3,700,000
修繕費	1,000,000
賃借料	2,000,000
会議費	150,000
慶弔渉外費	320,000
旅費交通費	1,500,000
通信運搬費	800,000
備品・消耗品費	500,000
水道光熱費	1,400,000
保険料	230,000
その他管理費	4,200,000
司牧協力献金(修道会宛)	51,800,000
教区司祭生活費	17,455,200
委員会助成金支出	4,340,000
福信館助成金支出	1,069,000
広報部特別会計	1,000,000
能登支援特別会計	77,100,000
予備費	302,800
当期支出合計 (C)	183,589,000
当期収支差額 (A) - (C)	0
次期繰越収支差額 (B) - (C)	0

2024年度決算の概観

2024年度の収入源の主なものは、全小教区からのミサ献金、維持費献金の11%からなる本部維持献金と小教区担当の全司祭の生活費の原資となる司牧協力分担金、その他に修道会からの献金等があります。これらで、司祭、職員の人件費、活動費、管理運営費などを賄いますが、不足分が出た場合は一般会計の積立金から補填を行います。

2024年度は新年の祝賀ムードの最中に発生した能登地震でその災害支援の義援金で国内外からの大きな支援金を現在に至るまで受けたことにより一般会計はその受け皿としての会計口でもあり、その分前年度会計より数字が大きくなっています。その分を差し引きして考えると一般会計の歳入は新型コロナウイルス禍中の状態から9割程度回復してまいりました。皆様からの献金の協力により2024年度は一般会計の積立口からの補填はありませんでした。しかし、教会の本格的活動の指標でもある委員会活動費はまだ十分に生かされていません。その分の支出が少なかった分だけ赤字になりませんでした。本来の教会活動に早く戻れるよう到来年度以降も予算処置を講じていこうと思っています。

以下に2024年度の特徴を挙げます。

1. 小教区の皆様のご協力により、教区司祭と修道会への司祭生活費を賄うことができました。
 2. 名古屋教区の宣教活動を反映する各委員会は、当初の計画通り活動出来なかった面もありましたが、予算案の執行は全体の約3/4でした。
 3. 能登半島地震の被害にあわれた教会関連施設とその被災者支援のために、教区への募金を呼びかけ、教区内外及び海外から多くの義援金が寄せられました。
 4. 一般会計積立金の取り崩しでの補填はありませんでした。
- その他、一般会計以外の名古屋教区の収入源として、従来は事業収入等がありましたが、一部事業終了などにより今後は従前までの収入を見込むことができなくなりました。

繰越金の誤差について

名古屋教区の法人規則に従い、予算は毎年3月末の責任役員会で決定し、評議員会の同意を得ています。その時点では前年度の決算が確定しないため、次期繰越額は仮決算に基づいています。決算は5月末の責任役員会で決定され、評議員会の同意を得ています。この時点で前期繰越額が確定されます。2024年度の次期繰越額と、2025年度の前期繰越額の誤差はそのために生じております。

2025年度予算について

今年度は、特別な行事や大きな支出は予定されていませんが、昨年1月1日に発生した能登半島地震で大きな被害が輪島を中心に能登半島全域に及び、いまだ復旧・復興されずに多くの人々が被災下での生活を強いられています。予算案には被災地復興を願う全国からの義援金を引き続き計上しています。多くの方々からのご支援に感謝するとともに一日も早い復興と、平穏な日常が被災地に戻ることを願っています。

終わりに

各小教区の皆様のご協力とご支援に感謝申し上げますと共に、福音を告げる熱意は弱まることなく、キリストの心にかなった教区となっていくことができるように、皆さまと共に歩んでいければと思います。

名古屋教区司教 松浦悟郎
名古屋教区会計担当 平田豊彦

2025年度名古屋教区小教区担当司牧者一覧

2025年7月現在

津島愛西	一宮	濃尾ブロック	瀬戸	春日井	多治見	高蔵寺	瑞浪	愛岐ブロック	八熊	熱田	日比野	港	鳴海	緑ヶ丘	半田	長浦	東海	名東	平針	南山	東山	膳棚	恵方町	城東ブロック	布池	小牧	守山	押切	五反城	城北ブロック	城北橋	各務原	岐阜	江南	大垣	美濃加茂	三河ブロック	安城	岡崎	刈谷	聖心	豊橋	三河センター	北陸ブロック・福井地区	敦賀(小浜)	北陸ブロック・石川地区	七尾(羽咋)	小松	輪島	富山	高岡	小矢部	魚津	北陸ブロック・富山地区	小川 満*	オデイロン・金一	片岡 義博*	ロー・ダム*	松浦 悟郎	野村 純一	平田 豊彦	早川 和彦	太田 実
------	----	--------	----	-----	-----	-----	----	--------	----	----	-----	---	----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	--------	----	----	----	----	-----	--------	-----	-----	----	----	----	------	--------	----	----	----	----	----	--------	-------------	--------	-------------	--------	----	----	----	----	-----	----	-------------	-------	----------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	------

*は協力司祭

2024年度 各小教区諸献金・本部納付金一覧表

(単位:円)

Table with 12 columns: 教会・施設名, 広報の日, 聖ペトロ, 難民移住移動, 世界宣教, 宣教地召命, 世界子ども, 聖地献金, 四旬節, 新教会建設, 諸献金合計, 本部維持費. Rows include churches like 熱田教会, 恵方町教会, etc., ending with a total row '小計'.

※「その他」とは小教区以外の学校、幼稚園、修道会・宣教会からの献金です。
※この表は2024年4月1日から2025年3月31日までに各小教区から教区本部に着金した金額を記載したものです。
※四旬節献金など会計年度をまたがって教区本部に入金された場合には二年度分記載されることもあります。

一粒会特別会計 2024年度会計報告

(2024年4月1日~2025年3月31日)

○収入の部について

・青封筒による「一粒会献金」がほとんどで、約1,006万円でした。
・「ミサ献金」は東海、北陸、両集い会場での献金。
・「特別献金」は一粒会への個人献金と、宣教地召命促進の日の献金。
・「その他の収入」は一粒会以外で神学生のためにとの意向で教区に献金されたものと受取利息です。

Table with 3 columns: 項目, 金額, 備考. Rows include 一粒会献金, ミサ献金, 特別献金, etc., with a total '収入合計' of 31,788,721 (B).

○支出の部について

・「日本カトリック神学院分担金」は、教区神学生が在席していなくても支払いが必要です。日本カトリック神学院を共同運営する15教区が分に応じて負担する運営経費です。
・「養成費」には神学生以外にも、教区養成者の終身助祭分も含まれます。現在、神学生は在席1名で、年間約300万円が必要です。
・「修道会寄付金」は、名古屋教区の小教区運営に協力している修道会への司祭養成のための寄付金です。
・一粒会の大きな支出は上記3項目で約1,178万円、収入の1,006万円を超えています。
・「活動費」①②③は、一粒会の中心的な行事、企画などにかかる費用と、一粒会活動にかかる通信費、印刷費、消耗品費など、そして2024年度特別企画の「ザビエル祭に中高生を招待する企画」。

Table with 3 columns: 項目, 金額, 備考. Rows include 日本カトリック神学院分担金, 養成費, 修道会寄付金, etc., with a total '当期支出合計' of 13,109,535 (C).

○当期収支は、約250万円の赤字となり、前期繰越金より補充いたしました。

一粒会の収入は、神学生がいない時期には繰越金として積み立てられますが、神学生が増えるほどに支出も増えますので、繰越金も減っていくことになります。

★現在、近藤真理生(まりお)神学生が在籍していますが、皆さんのお祈りと献金で神学生を育てていきましょう。

なお、2020年度より一粒会の会計は教区会計の「神学生育成援助金口」と統合され、新しく「一粒会特別会計口」となっています。

(一粒会委員長・西村由美子)

2025年平和旬間行事 小教区 企画概要 (7月10日までの報告)

主催者	日時	企画タイトル	企画の紹介
一宮教会 Tel 0586-73-4884 橋本裕明	8月17日(日) 13:00~14:30	「原発継続運転の危険について学ぶ」	政府の原発政策は廃炉へと展開せず、今後も持続の方向をうちだしている。今回長年廃炉訴訟に取り組んで来られた草地妙子氏をお招きしタイトルにある内容を話していただく。対象者は小教区信徒
	7月27日(日) 13:00~	「一宮空襲の時代的背景」の卓話	
	8月3日(日)	① 平和祈願ミサ ② 一宮空襲犠牲者慰霊祭 (一宮市大乘公園)	
瀬戸教会 Tel 0561-82-7340 山本雅徳	8月3日(日) 10:15~12:00	講演会 「老朽原発の問題について」	老朽原発40年廃炉訴訟市民の会共同代表草地妙子さんをお招きして日々の生活の中で安心安全に暮らせる平和について考える
	8月6日(水)~15日(金) 平日 15:00 日曜 8:30 14日・15日 9:30	平和を祈るロザリオ	8月6日(水) 広島市の被爆者のために 8月7日(木) 一人一人が平和の担い手となるように 8月8日(金) 貧困・飢餓・病気・圧政など困難に直面する世界中の人々のために 8月9日(土) 長崎の被爆者のために 8月10日(日) ウクライナとロシア、中東地区の平和のために 8月11日(月) ヘクトクライムの無い社会の実現のために 8月12日(火) スーダン・アフガニスタン・ミャンマー・シリアなど世界中の内戦、紛争が終わりますように 8月13日(水) 能登半島地震で被災した人々のために 8月14日(木) 全世界の平和を願って 8月15日(金) 第二次世界大戦で犠牲になった方々のために
	7月1日(火)~27日(日)	平和の折り鶴	8月15日(金) 聖母の被昇天ミサで奉納 2026年6月平和行進後、広島平和祈念公園「原爆の子の像」に捧げる
	8月3日(日) 11:30~15:00	核兵器について考える	教皇フランシスコ、長崎訪問時の「核兵器についてのメッセージ」動画 昼食をとりながら、核兵器についてのディスカッション 聖体礼拝
平針教会 Tel 089-1216-8907 和田 馨	8月10日(日) ミサ後 10:40~11:40	「死んだ男が残したものは」「息」 信徒による戦争体験談と谷川俊太郎さんの詩の朗読	戦争体験を語っていただいた後、質疑応答。戦争や平和について皆で考える。その後、代表者(子どもや大人、老若男女)10人程度で谷川俊太郎の詩を朗読する。(プロジェクター等も使って写真なども見えるようにする)
東山教会 Tel 052-781-6514 大西信之	8月17日(日) 10:40~12:00	講演会 「私の心に平和をもたらしてくれた難民たち」	講師：松浦・デ・ビスカルド篤子氏 カトリック大阪高松大司教区社会活動センター「シナビス」副センター長 教会組織でどのように難民移住者支援に関わり、数々の失敗を重ねながらも、なぜ歩みを止めずに活動を続けているのか。 講師が30年に亘る経験から皆様にお伝えしたい事とは…… 対象：教会内外(特に制限なし)
半田教会 Tel 0569-22-7416 真倉美喜	8月6日(水)~15日(金)	8月10日(日) 8月15日(金) 8月6日から15日の間、各個人、家族やグループで、キリストの御復活の14留「光の道行」の祈りを行う。	8月6日から15日の間、各個人、家族やグループで、ノヴェナの祈りを唱える。(聖フランシスコの「平和を願う祈り」・主の祈り・マリアの祈り)
多治見教会 Tel 0572-22-1583 八田	① 8月6日(水)~15日(金) ② 8月31日(日)ミサ後	① “いのちを守る 平和を築く”に関するパネル展示 ② “いのちを守る 平和を築く”勉強会	① 峠三吉詩集より「序」パネルで多言語で、教会廊下に掲示。 ② 勉強会 ①の朗読 DVD鑑賞「にんげんをかえせ」 分かち合い アンケート 平和へのメッセージカード 皆さんに書いてもらい掲示。
高蔵寺教会 Tel 090-7432-1318 椎尾匡文	8月10日(日) 9:30ミサ中	① 典礼グループ 詩の朗読と合唱(ミサ中) ② 社会問題懇話会グループ ・フランシスコ教皇の足跡をたどる映像を観る(ミサ後) ・折り鶴を使ったパネルの製作・展示(期間中) ③ 教会学校グループ ・「平和な暮らし」を描く(期間中)	幅広く参加してもらうために、左記3グループに企画を依頼した。
南山教会 Tel 080-3066-3433 井爪光子	8月3日(日) 13:00~15:30	テーマ「平和をつなぐ」 —9条を抱きしめて—	・聖書朗読 ・映画「9条を抱きしめて—元米軍海兵隊員アレックス・ネルソンが語る戦争と平和」 ・松浦悟郎司教様と共に ・合唱 南山教会聖歌隊 ・共同祈願 ・平和を求める祈り 手話による「キリストの平和」他 ・派遣の祝福 ・聖歌「みははマリア」とオルガン演奏
城北橋教会 Tel 052-917-0018 片岡法代	8月10日(日)、15日(金) 10:30~11:00	ロザリオの祈り	平和を願い、ミサ後ロザリオの祈り一環を唱える。折り鶴を折っていただき、祈りを捧げる。
五反城教会 Tel 052-412-3456 小林智之	8月3日(日) 9:00~10:30	国際平和祈願ミサ	日本・太平洋諸国・世界の様々な地域や国々の平和を願い、国際ミサを行う。
春日井教会 Tel 090-3581-5106 中村敏郎	8月10日(日)、14日(木)、15日(金) 9:00ミサ後	世界平和のための祈り	8月10日(日) 「被爆者のために」 8月14日(木) 「修道会の聖人のために」 8月15日(金) 「対戦で犠牲になった方々のために」 当日ミサ後にロザリオを一連捧げる。

2025年度 第1回宣教司牧評議会開催

6月1日(日)午後2時から5時まで布池教会地下ホールで、「2025年度第一回宣教司牧評議会」が行われ、松浦悟郎司教をはじめ、各ブロック代表や司教任命の委員25名が参加して行われた。

確認・報告事項

- 今年度は委員交代の年であり新メンバーの自己紹介。
- 今年度の各ブロック役割分担について確認。
- 4月16日の聖香油ミサの中で行われたダイヤモンド金銀祝について昨年同様聖香油ミサの中で実施の報告。
- 4月29日(祝)15名程度の参加者で行われた卯辰山の殉教者祭についての報告。
- 2024年度の宣教司牧評議会の決算について原案通り承認。
- 高齢者への司教

祝福カードについて今年度の準備、発送予定が報告。7.その他としてカ障連より、2026年11月14日(土)から11月15日(日)の日程で開催される第15回名古屋全国大会について、①大会の理解と協力依頼、②ブロック会議にて説明の後、随時小教区へキャラバン隊が訪問、寄付依頼と共に大会の周知を計ることを確認。

審議事項

- 今年度のダイヤモンド金銀祝の実施時期について
- 今年度の平和旬間実行委員会の提案を基に審議し、結論としては実行

コロナ禍で行われた聖香油ミサの中で行うのか、コロナ禍以前のように春分の日に行うのかそれぞれメリット、デメリットを挙げて審議の結果、以前のように3月20日(春分の日)に戻すとの結論が出た。なお、この日を「石命を考える日」としてイベントを行うという意見も出されたが、次回審議する予定。

8月の平和旬間の取り組みについて

4月5日の平和旬間実行委員会の提案を基に審議し、結論としては実行

委員会の下記の案の通りに決定。

①教区として 実行委員会からの進捗状況報告は、テーマは「いのちを守る 平和を築く」。

名古屋(東海地区)布池教会地下ホールで「にんげんをかえせ」DVD鑑賞、瀬戸教会の太田智恵子氏の話

布池教会大聖堂で平和祈願ミサ(主司式 松浦悟郎司教)

北陸ブロック 福井教会で「にんげんをかえせ」DVD鑑賞

②ブロック、小教区としての平和旬間行事を企画検討し、取り組み内容のまとめ、教区ニュースにて報告を。

3.その他

新しいメンバーも入った初めての宣教司牧評議会に当たり、教区が目指す「方向性、継続性、代

表制」を確認するため、下記のテーマで分かち合った。

①注意喚起 最近、菊地功板機卿を装ったFacebook等のSNSアカウントが複数確認され、そのアカウントから友達申請を受けた上、実際に金銭を要求され、支払ってしまったという被害報告があった。菊地功板機卿が個人のサイトで寄付等をお願いすることはないので、注意するようにとのこと。

②教区シエルトについて 西蟹田(男性) 恵方町(女性) 現在男性3名 女性3名 生活のための支援をする(aju)

受付 難民移住移動委員会 小教区へ募金のお願いを

ち合った。

*「宣教司牧指針」に記載されている6つのビジョンについて、グループに分かれ、各グループのトピックについて、これまでに達成できていることと継続的取り組みが必要と必要な意見交換と発表をし、特に今の教会が直面する信徒の高齢化と外国籍信徒の増加の事について意見が多かった。

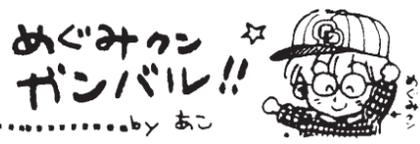
告知、おしらせ

①注意喚起 最近、菊地功板機卿を装ったFacebook等のSNSアカウントが複数確認され、そのアカウントから友達申請を受けた上、実際に金銭を要求され、支払ってしまったという被害報告があった。菊地功板機卿が個人のサイトで寄付等をお願いすることはないので、注意するようにとのこと。

②教区シエルトについて 西蟹田(男性) 恵方町(女性) 現在男性3名 女性3名 生活のための支援をする(aju)

受付 難民移住移動委員会 小教区へ募金のお願いを

③炊き出し活動について カトリック独自で行ってきた炊き出し活動は、今後、ささしま共生会の中に入り、一緒に活動。これまで行ってきた木曜日の炊き出しは今後もカトリックが担い継続。炊き出しへの募金はささしま共生会の口座に一本化。この決定に伴い、福音館一階をささしま共生会の事務所と炊き出しに無償貸与。二階は名古屋教区の社会福音化推進部の事務所と諸活動の場とする。



めぐみカンガンバル!!
.....by あこ

思い込みの激しい長は民の嘆き
神の国の錠を守る

まずは律法!
フアリスイ完

彼らは人の話に耳を貸さず全てを自分が正しいと言う

クリスト者は信じる
み言葉に導かれてい
な間行しよばいばい

確かに光は私たちに照らす神
しかし...

人はこの世に
実在する以上
光を受けて必ず
そこに陰を落とす

自分の陰のせい
で何がつかない
ことがないよう
に
つまづいて人を
置き去りにする
ことがないよう
に

真の平和と
一致の実現は
自分が
謙虚とす
慮さる
あつてこそ...

自分を込めて

8月の教会暦 (祭日、祝日、祝日、記念日)

1日(金) 聖アルフォンソ・マリア・デ・リグオーリ司教教会博士(記)

3日(日) 年間第18主日

4日(月) 聖ヨハネ・マリア・ヴィアンネ司祭(記)

6日(水) 主の変容(祝) 日本カトリック平和旬間(15日まで)

8日(金) 聖ドミニコ司祭(記)

10日(日) 年間第19主日

11日(月) 祝聖クララおとめ(記)

14日(木) 聖マキシミアノ・マリア・コルベ司教殉教者(記)

15日(金) 聖母の被昇天(祭)

17日(日) 年間第20主日

20日(水) 聖ベルナルド修道院長教会博士(記)

21日(木) 聖ピオ十世教皇(記)

22日(金) 天の元后聖母マリア(記)

24日(日) 年間第21主日

27日(水) 聖モニカ(記)

28日(木) 聖アウグスチヌス司教教会博士(記)

29日(金) 洗礼者聖ヨハネの殉教(記)

31日(日) 年間第22主日

9月の教会暦

1日(月) すべてのいのちを守るための月間(10月4日まで)

3日(水) 聖グレゴリオ一世教皇教会博士(記)

7日(日) 年間第23主日

8日(月) 被造物を大切に作る世界祈願日

8日(月) 聖母マリアの誕生(祝)

教区行事予定 (*松浦司教)

10日(水) 福者セバスチャン木村司祭と20殉教者(記)

13日(土) 聖ヨハネ・クリゾストモ司教教会博士(記)

14日(日) 十字架称賛(祝)

15日(月) 祖父母と高齢者のための世界祈願日

15日(月) 祝悲しみの聖母マリア(記)

16日(火) 聖コルネリオ教皇 聖チプリアノ司教殉教者(記)

20日(土) 聖アンデレ・キム・デゴン司祭 聖パウロ・チョン・ハサンと同志殉教者(記)

21日(日) 年間第25主日

27日(土) 聖ビンセンシオ・ア・パウロ司祭(記)

28日(日) 年間第26主日

28日(日) 世界難民移住移動者の日(献金)

29日(月) 聖ミカエル 聖ガブリエル 聖ラファエル大天使(祝)

30日(火) 聖ヒエロニモ司教教会博士(記)

9月

6日(土) 宣司評運営委員会*

9日(火) 難民移住移動者委員会/樹の会

11日(木) 顧問会*

13日(土) 殉教者委定例会/信徒協役員会

15日(月) 祝典委員会全体会議/典礼委員会

16日(火) カトリック看護協会例会

20日(土) 難民移住移動者「共に生きるための研修会」/レジオ・マリエ「名古屋クリア」

23日(火) 祝典委員会追悼ミサ*

28日(日) 教区障害者のつどい*

教区行事以外の松浦司教予定

8月

5日(火) 6日(水) 平和行事(広島)

8日(金) 9日(土) 平和行事(長崎)

9月

3日(水) 大阪関西万博 バチカン展、シンポジウム

4日(木) 司教セミナー シノドス学習会(大阪)

告知板

◇8月の吹き出し
木7日布池、14日南山・樹の会、21日城北橋、28日一宮、金1日喜望の会、8日南山、15日布池、22日一宮、29日布池

◇9月の吹き出し
木4日布池、11日ひまわり・南山・樹の会、18日聖霊・南山・樹の会、25日城北橋、金5日喜望の会、12日布池、19日恵方町、26日長浦

建設費の返済に協力を

682件 38,039,661円
目標額 40,000,000円 (2025年6末日現在)

達成率 約95.1%

郵便振替 00810-5-50605
加入者名 カトリック名古屋教区通信欄に「福音館建設」と必ずご記入ください。

〈カルメル修道会日比野修道院、講座、黙想企画〉

【旧約聖書から学ぶキリスト教霊性】

—キリストの十字架の恵みをより味わうために—

日時 9月20日(土) 14:30~16:30
テーマ 申命記史書と申命記主義
持ち物 必ず聖書(旧約+新約)をご持参ください。
場所 カルメル会日比野修道院(日比野教会)、参加費無料。
どなたでもご自由にご参加ください。
担当 志村武神父(カルメル修道会)
問合せ 日比野修道院 (052-671-1003)
以降の予定 10月11日(土)、11月15日(土)、12月13日(土)

【静修の集い】

日時 9月27日(土) 10:00~15:00
講話担当 古川利雅神父(カルメル修道会)
テーマ 「ロス・アンデスのテレサ」と共に神との親しさを生きる
スケジュール 講話①、ご聖体顕示、昼食、講話②、ミサ、茶話会
参加費 無料(自由献金をお願い致します)。どなたでもご自由にご参加ください。
持ち物 昼食(各自持参)
問合せ 日比野修道院 (052-671-1003)

信仰の深みへと変容する読書会

濃尾 キリスト教史

「キリスト教信仰のあかしをたどる」
キリシタン時代から現代につづく信仰

2022年-2023年は名古屋教区設立100周年を迎え、信徒と共に教区の信仰のあかしを振り返りました。しかしキリスト教信仰の礎は16世紀中期にさかのぼり受容・禁制・排除があり、また潜伏や時代の状況秩序を守りつつ共生し存続ができました。「次世代に信仰をいかにつなぐか?」と問われる今、わたしたちが受け継いだ信仰召命のルーツを学ぶことによって、次世代につなげる知識と力に変容していきたいという思いから下記の読書勉強会を企画いたしました。

日時 8月2日(土) 8月30日(土) 13:30~16:00
(ロザリオの祈り 分ち合い)

使用する書籍 「東海・北陸のキリシタン史跡巡礼 —あかしする信仰」名古屋教区殉教者顕彰委員会 著
*お手元をお持ちの方はご持参ください。お持ちでない方は連絡をください。

指導講師 名古屋教区 司祭 浅井太郎 神父
開催場所 主税町記念聖堂 司祭館1階
〒461-0018 愛知県名古屋市東区主税町3-33
地下鉄名城線「名古屋城」駅下車 徒歩15分
地下鉄桜通線「高岳」駅下車 徒歩10分
市バス「清水口」「白壁」バス停より徒歩5分

主催 名古屋教区 女子修道会 在俗会連盟
協力 名古屋教区 殉教者顕彰委員会

『北陸地区 一粒会の集い』

日時 8月31日(日) 14:00開催(受付13:30~)

場所 小矢部教会 (富山県小矢部市植生1581)

内容 ◎14:00~ 講演「私の召命」アルディ・ハヨン神父(五反城教会主任司祭、神言会)
◎15:20~ 司教とともに捧げるミサ
◎16:20~ 茶話会(17:00 終了予定)

主催 名古屋教区一粒会
問合せ 西村由美子 (TEL) 0561-54-9754 (SMS) 090-1279-9932

名古屋教区事務所から夏季休暇のお知らせ

8月13日(水)~15日(金)、夏季休暇でお休みします。

2025年度 名古屋教区合同追悼ミサ

日時 ■カトリック名古屋教区霊園(名古屋市立霊園内)
9月23日(火・秋分の日) 14:00(雨天中止)
■第一カトリック墓地(東八事霊園内)
10月12日(日) 14:00(雨天中止)
■第二カトリック墓地(東八事霊園内)
11月2日(日) 14:00(雨天中止)

雨天中止について

- ・当日のNHKの朝の天気予報で、午後ははっきりと雨天と予報された場合は中止。午前11時まで事務所で電話の対応あり。
- ・中止の場合、12時に現地に中止の看板を設置

お願い事項

- ・駐車場に限りがあるため、出来るだけ公共交通機関をご利用ください。
- ・名古屋市霊園管理事務局の指導により、墓地への納骨の際は、申請・許可が必要です。
- ・八事霊園の方は事前に、教区本部事務局墓地係までお知らせください。
- ・東八事霊園の方は、管理会社(株)名古屋浄苑(電話 052-831-1370)までお問い合わせください。

問合せ カトリック霊園管理事務局
名古屋市東区葵二丁目6-35
カトリック名古屋教区本部事務局内
電話 052-935-2223 FAX 052-935-2254

教区典礼研修会「歌は、祈り」

日時 9月15日(月・祝)、13:30~15:30(受付は13:00より)

場所 カトリック布池教会大聖堂
地下鉄東山線新栄駅下車、徒歩5~6分
または桜通線車道駅下車、徒歩5~6分

講師 「典礼聖歌アンサンブル」(団長:神馬宏美氏)

「典礼聖歌アンサンブル」は1997年に設立され、故高田三郎氏によって、日本人のための祈りの歌として作曲された典礼聖歌の普及に役立ちたいという願いから、作曲家から直接指導を受けた者が中心となり、その「作曲者の意思」をできるだけ忠実に反映させた演奏を目指して、毎月2回の練習を重ね、教会での聖歌奉仕、演奏会、ミサの聖歌指導、オルガン奉仕者のための研修会、CD録音と頒布の活動をしているグループです。

内容 歌唱指導と「能登災害被災者支援チャリティコンサート」
参加費 無料ですが、自由な寄付をお願いいたします。
参加申込みは不要です。 ※布池教会への問合せはご遠慮ください。